

ふれあいの発進



部門長あいさつ

守口 法子

思い起こせばノーマライゼーションという言葉が学生の頃学び、それを目指したいという夢を持ち、福祉を専攻した。以後この言葉は私の理念になって根付いている。

なんぐん館に入社したのも、この思いが活かせればと考えたからだ。

入社した当初(相談指導員として入社)入所・通所希望者の調査、施設説明のため一日数件もの家庭を訪問した。その頃南郡に嫁いだばかりだったため、地域のことは全く知らなかった。訪問先の家が見つからず、人に道を聞くが、その目印になる所すら分からないという有様。聞いた方には随分と迷惑をかけた。しかし、これらの経験で地域の方々の温かさを知った。真っ黒に日焼けした額から、流れる汗を拭いながら、鎌を片手に畑仕事の手を休め、道を教えていただいた方、見ず知らずの私に「ご苦労様、あそこのあの婆ちゃんはな・・・」だから、よく介護してあげてや。」と、その人の情報と愛情いっぱいのお茶が嬉しかった。決して都会では味わえない『人と人とのふれあい・結びつき』。私はたくさんの方々に助けられ、励まされて今の自分(まだまだ未熟だが...)があるのだと感じている。人とふれあうことの幸せ、ありがたさを知り、学べたことは私の一生の宝である。

私はこんな温かい南郡が好きになっていった。そうしていると、いつの頃からか徐々にこのようなことを考えるようになった。

この医師会の施設、各事業所が今から発展していく上で、南郡でないと出来ないこと・南郡だから出来ること(南郡の地域性、人間性を活かしたもの)があるのでは?と...

国や県で定められた規定通りの施設や各事業所では、温かみと面白みがない、といって未だにその答えを探しているところ。もしかして答えなどないのかもしれない。数学のようにはいかず、心の深いところで感じ取り実行するものなのかもしれない。でも私は断固として答えを求め続けていこうと思っっている。

今後は、常に住民が求めていることを聞き、考え、研究し、この施設・各事業所がもっとも地域に近い存在になることを祈っている。時には代弁者となり、住み良い南郡・安心して老いることのできる南郡となれるよう住民と共に、広い視野で見ることが出来るようになればとも願っている。そしてこの施設、各事業所が町村と、力を合わせ、前進させることのできる存在であることに感謝している。

何事にも住民とともに...、地域に根ざした...と考えること、また考えなければならぬことが医師会立であることの使命だと私は理解しており、誇りに思っている。何よりもそういう医師会の考えに賛同して入社したのでから...

行ってききました、バスハイク!
行ってききました、観自在寺!!



二階は二十四・二十九日の二日に分かれて参詣しました。担当として、天気のことや入所者の体調など、当日まで不安がありました。皆さん無事、観自在寺に着きご住職からお説教を聞かせて頂いた後、お参りを楽しみました。

公堂で昼食をとり、「お参りの後のお弁当はおいしい」と皆さん喜ばれ、入所者の方々に満足していただくことができました。

(記 吉田 ひとみ)

一階は五月二十三・二十八日の二日に分かれ、約二十名ずつ観自在寺に行きました。二十三日には少し雨が降りましたが、比較的天気にも恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。

日頃、館外へ出ることの少ない入所者にとって良い気分転換になったのではないでしょうか。

ご住職のお話を真剣な表情で聞き、お賽銭を持って嬉しそうに参詣する姿が印象的でした。

両日とも事故なく実施することができました。御協力頂いた全ての皆様、ありがとうございました。

(記 山本 カヨ子)



短歌 俳句 コーナー

野も山も 新芽を吹いて 青々と

井上トシヲ

しやりしやりと 肌ざわりよき

夏衣 いち早 嫁の 届けくれたり

光井 芳子

夏衣 はつと気が付く 衣がえ

中田 新吉

家族会

四月二十五日に一階の利用者を対象とした家族会を開催致しました。参加頂いた家族の方からの意見としまして

- ①衣替えの時期を知らせてほしい
- ②状態が悪くなっても最期まで見てもらえるのだろうか

①については各担当者よりご家族の方へ連絡をし、②についてはご家族の意向を尊重しながら対応させて頂くようになります。少数の話し合いではありましたが家庭での体験話を聞かせて頂くよい交流の場になりました。

五月の二十日からの一週間はデイ・ケアの家族会を開催致しました。

二階の家族会は六月に開催を予定していますので、ご参加の程よろしくお願い致します。